



## 平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 カナレ電気株式会社  
 コード番号 5819 URL <http://www.canare.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾羽瀬 正夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 小淵 敦 (TEL) 045-470-5503  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	5,877	—	532	—	628	—	425	—
22年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年12月期第3四半期	62	98	—	—
22年12月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 当社は前連結会計年度に決算日を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、22年12月期は9ヵ月決算となっております。これに伴い、22年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、22年12月期第3四半期の連結経営成績及び23年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年12月期第3四半期	8,018	6,929	86.4	1,026	59			
22年12月期	7,906	6,756	85.5	1,001	01			

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 6,929百万円 22年12月期 6,756百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年12月期	—	—	15	00	—	—	8	00	23	00
23年12月期	—	—	12	00	—	—	—	—	—	—
23年12月期（予想）	—	—	—	—	—	—	13	00	25	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,570	—	1,030	—	1,040	—	680	—	100	74

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

当社は、前連結会計年度に決算日を毎年3月31日から毎年12月31日に変更したため、前連結会計年度通期につきましては、国内は9ヵ月（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）、海外は12ヵ月（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）を連結する変則的決算となっております。対前期増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年12月期3Q 7,028,060株 22年12月期 7,028,060株

② 期末自己株式数 23年12月期3Q 278,211株 22年12月期 278,211株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年12月期3Q 6,749,849株 22年12月期3Q 一株

(注) 当社は前連結会計年度に決算日を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、22年12月期は9ヵ月決算となっておりますので、期中平均株式数（四半期累計）の22年12月期3Qは記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、慎重に策定しましたが、当社で現在入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。実際は、さまざまな要因の変化から、予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知置きください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	8
海外売上高 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の当社グループをとりまく経営環境は、東日本大震災による需要冷え込み、いっそうの円高など厳しい状況であったことから、売上高5,877百万円、営業利益532百万円、経常利益628百万円、四半期純利益425百万円となりました。

主なセグメント売上高、営業利益は次のとおりです。

(日本)

東日本大震災後の放送市場、電設市場の低迷が続いており売上高は3,657百万円、セグメント営業利益は346百万円にとどまりました。

(米国)

円高による円換算後数値の目減りや売上総利益率の悪化などにより、売上高470百万円、セグメント営業利益19百万円にとどまりました。

(韓国)

韓国市場における販売競争激化や円高による仕入コスト負担増などもあり、売上高は596百万円、セグメント営業利益52百万円となりました。

(中国)

販売、生産が順調に推移したことから業績は順調で、売上高670百万円、セグメント営業利益133百万円となりました。

(シンガポール)

東南アジア各国において販売は順調で、売上高293百万円、セグメント営業利益49百万円を計上しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における財政状態につきましては、在庫増を主因として資産合計が8,018百万円となりました。負債合計は買掛金の減少等により1,088百万円となりました。純資産合計につきましては、四半期利益から配当支払分を差引した利益剰余金増加により6,929百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループ業績は、東日本大震災による国内売上高の低迷や原材料高の影響を受けておりますが、海外販社での販売価格見直し等の成果が第4四半期に向けて出てくると予想しており、現時点では通期業績予想の見直しの必要はないと認識しております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

#### ②特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

#### ②①以外の変更

該当事項はありません。

#### (追加情報)

当社は、平成22年6月11日開催の第37期定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算日を毎年3月31日から毎年12月31日に変更いたしました。これに伴い、前連結会計年度は、平成22年4月1日から平成22年12月31日までの9ヵ月間となっております。また、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,560,624	3,484,960
受取手形及び売掛金	900,167	971,538
商品及び製品	1,167,171	1,029,708
仕掛品	20,873	42,664
原材料及び貯蔵品	146,693	143,895
その他	424,094	456,740
貸倒引当金	△3,990	△1,918
流動資産合計	6,215,634	6,127,588
固定資産		
有形固定資産		
土地	752,967	759,768
その他	2,080,266	2,001,564
減価償却累計額	△1,637,287	△1,605,486
有形固定資産合計	1,195,947	1,155,846
無形固定資産		
投資その他の資産	600,201	616,660
固定資産合計	1,802,532	1,778,911
資産合計	8,018,166	7,906,500
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	459,011	532,512
未払法人税等	85,496	87,794
賞与引当金	132,370	56,793
役員賞与引当金	11,020	9,267
その他	206,311	272,379
流動負債合計	894,210	958,747
固定負債		
退職給付引当金	2,873	2,455
役員退職慰労引当金	76,191	79,070
その他	115,530	109,581
固定負債合計	194,596	191,107
負債合計	1,088,807	1,149,854

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,175,210
利益剰余金	6,008,534	5,718,396
自己株式	△335,031	△335,031
株主資本合計	7,896,256	7,606,118
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△31,318	△13,033
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	△564,528	△465,388
評価・換算差額等合計	△966,897	△849,473
純資産合計	6,929,358	6,756,645
負債純資産合計	8,018,166	7,906,500

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,877,288
売上原価	3,824,232
売上総利益	2,053,056
販売費及び一般管理費	1,520,340
営業利益	532,715
営業外収益	
受取利息	14,044
受取配当金	2,822
為替差益	75,920
不動産賃貸料	4,541
その他	9,317
営業外収益合計	106,646
営業外費用	
支払利息	464
不動産賃貸原価	2,807
投資事業組合運用損	7,444
その他	530
営業外費用合計	11,246
経常利益	628,114
特別利益	
固定資産売却益	369
助成金収入	34,500
特別利益合計	34,869
特別損失	
固定資産売却損	147
固定資産除却損	99
減損損失	843
特別損失合計	1,089
税金等調整前四半期純利益	661,894
法人税、住民税及び事業税	221,873
法人税等調整額	14,885
法人税等合計	236,759
少数株主損益調整前四半期純利益	425,134
四半期純利益	425,134

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	3,657,248	470,677	596,948	670,749	82,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,676,738	—	—	536,723	—
計	5,333,987	470,677	596,948	1,207,472	82,838
セグメント利益(営業利益)	346,698	19,859	52,478	133,793	9,260

	報告セグメント		合計
	シンガポール	欧州	
売上高			
外部顧客への売上高	293,518	105,308	5,877,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,213,461
計	293,518	105,308	8,090,750
セグメント利益(営業利益)	49,758	1,779	613,628

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント合計	613,628
セグメント間取引消去	△91,291
その他の調整額	10,378
四半期連結損益計算書の営業利益	532,715

(追加情報)

前連結会計年度の決算日変更に伴い、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

	米州	アジア	欧州	その他の地域	計
海外売上高(千円)	531,275	1,719,830	138,467	154,776	2,544,349
連結売上高(千円)	—	—	—	—	5,877,288
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.0	29.3	2.4	2.6	43.3

(注) 1. 海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類されております。

2. 地域に関して、その内訳は次のとおりであります。

米州……………米国、カナダ、中南米諸国

アジア……………中国及び香港、韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、台湾、インド等

欧州……………フランス、イギリス、イタリア等

その他の地域…上記以外

(追加情報)

前連結会計年度の決算日変更に伴い、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。